

持続的な企業価値の向上を目指して

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。

神戸製鋼グループは、「2003-2005年度連結中期経営計画」の総仕上げの年として、「オンリーワン・ナンバーワン製品」の創出・拡大などの重点施策を強力に推し進めるとともに、好調な製造業向けを中心に需要の取り込みや販売価格の改善に一層注力してまいりました。この結果、鉄鋼、電子材料を中心に業績は大幅に改善いたしました。また、将来に向けた事業競争力の強化を図るため、戦略的な設備投資の実行や海外拠点の設立・立ち上げなどに、引き続き注力してまいりました。

この結果、平成17年度(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)の連結業績は、売上高は1兆6,673億円、営業利益は2,203億円、経常利益は1,769億円となり、4年連続の増収増益となりました。

当期の配当につきましては、継続的かつ安定的な実施を基本としてつ、配当性向や、将来の成長のために必要な投資資金、財務体質の改善状況などを総合的に勘案し、1株につき6円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、国内の設備投資や個人消費など民間需要は引き続き好調に推移すると見込まれるなど、景気は順調に回復を続けるものと予想されますが、量的緩和政策の解除に伴う金利の上昇や原油価格の更なる高騰、米中・中国経済の動向など、懸念される要素も幾つかあり、必ずしも楽観できる状況とはいえません。

このような状況の中、当社グループは、本年4月に、「2006-2008年度グループ中期経営計画」を策定し、「オンリーワン製品」の拡販と創出、「ものづくり力」の強化、財務基盤の強化などを基本方針に掲げ、収益力の更なる強化と環境変化に対応できる強い企業体質の構築に向けて取り組みを開始いたしました。なお、本計画の最終年度における財務目標については、「経常利益1,800億円以上」、「当期純利益1,000億円以上」、「ROA 5%以上(注)および「デット・エクイティ・レシオ 0.8倍以下(注)」と定めております。

当社は、昨年9月1日をもちまして、おかげさまで創立100周年を迎えることができました。次なる100年に向けまして、当社グループは、

今まで培ってきた強みや実績を踏まえつつ、グループとして大切にしていきたいことを明文化し、「企業理念」として制定いたしました。この理念のもと、株主・投資家、取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

神戸製鋼グループ「企業理念」

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長

犬伏 泰夫

(注)1. ROA: 当期純利益 / 総資産

2. デット・エクイティ・レシオ: プロジェクトファイナンスを除く有利子負債残高 / (資本金 + 資本剰余金 + 利益剰余金)